

## 共用基準範囲の採用についてのお知らせ

平成30年4月1日より、検体（血液）検査の中で、国内標準化が達成された40項目を対象に、日本全国の医療機関で共通して使用することが可能な「共用基準範囲」を採用いたします。

### ◎共用基準範囲とは

JCCLS（日本臨床検査標準協議会）が健常者の大規模調査データをもとに、下記40項目について日本国内で共通に利用可能な基準範囲として設定したもので、日本医師会をはじめとする関連団体の賛同を得て公表された基準範囲です。

### ◎導入のメリットは

今回採用する「共用基準範囲」は、全国的に導入が進められており、採用施設ではどこで検査しても同じ評価基準で判定されることとなります。

### ◎従来の基準範囲と、4月からの「共用基準範囲」との比較

項目名	従来の基準範囲		共用基準範囲		単位
	男性	女性	男性	女性	
C反応性蛋白	0.00 ~ 0.40		0.00 ~ 0.14		mg/dl
総蛋白	6.7 ~ 8.3		6.6 ~ 8.1		g/dl
アルブミン	3.7 ~ 4.6		4.1 ~ 5.1		g/dl
総ビリルビン	0.3 ~ 1.2		0.4 ~ 1.5		mg/dl
アルカリフォスファターゼ	115 ~ 359		106 ~ 322		U/l
γ-GTP	10 ~ 47		13~64	9~32	U/l
AST	13 ~ 33		13 ~ 30		U/l
ALT	8~42	6~27	10~42	7~23	U/l
乳酸脱水素酵素	119 ~ 229		124 ~ 222		U/l
コリンエステラーゼ	205~421	176~388	240~486	201~421	U/l
アミラーゼ	40 ~ 125		44 ~ 132		U/l
クレアチンキナーゼ	62~287	45~163	59~248	41~153	U/l
総コレステロール	128 ~ 219		142 ~ 248		mg/dl
中性脂肪	30 ~ 149		40~234	30~117	mg/dl
LDL-コレステロール	70 ~ 139		65 ~ 163		mg/dl
HDL-コレステロール	41 ~ 96		38~90	48~103	mg/dl
尿素窒素	8.0 ~ 22.0		8.0 ~ 20.0		mg/dl
クレアチニン	0.60~1.10	0.40~0.70	0.65~1.07	0.46~0.79	mg/dl
尿酸	3.6~7.0	2.3~5.5	3.7~7.8	2.6~5.5	mg/dl
ナトリウム	138 ~ 146		138 ~ 145		mmol/l
カリウム	3.6 ~ 4.9		3.6 ~ 4.8		mmol/l
クロール	99 ~ 109		101 ~ 108		mmol/l
カルシウム	8.7 ~ 10.3		8.8 ~ 10.1		mg/dl
無機リン	2.5 ~ 4.7		2.7 ~ 4.6		mg/dl
鉄	50~173	40~158	40 ~ 188		μg/dl
血糖	70 ~ 109		73 ~ 109		mg/dl
ヘモグロビンA1c	4.6 ~ 6.2		4.9 ~ 6.0		%
IgG	870 ~ 1700		861 ~ 1747		mg/dl
IgA	110 ~ 410		93 ~ 393		mg/dl
IgM	35 ~ 220		33~183	50~269	mg/dl
C3	80 ~ 140		73 ~ 138		mg/dl
C4	11 ~ 34		11 ~ 31		mg/dl
白血球数	4.00 ~ 9.00		3.30 ~ 8.60		10 <sup>3</sup> /μl
赤血球数	4.30~5.70	3.70~5.00	4.35~5.55	3.86~4.92	10 <sup>6</sup> /μl
ヘモグロビン	13.0~17.0	12.0~16.0	13.7~16.8	11.6~14.8	g/dl
ヘマトクリット	36.0 ~ 52.0		40.7~50.1	35.1~44.4	%
MCV	76.0 ~ 96.0		83.6 ~ 98.2		fl
MCH	27.0 ~ 32.0		27.5 ~ 33.2		pg
MCHC	32.0 ~ 36.0		31.7 ~ 35.3		g/dl
血小板数	130 ~ 450		158 ~ 348		10 <sup>3</sup> /μl

「共用基準範囲」は検査結果を解釈するための目安であり、基準範囲内でも症状が見られることや、病気と診断される場合もあります。基準範囲は健康な人の多くが入る範囲なので、ひとつの物差しとして用いられます。検査結果の解釈は、医師の総合的な判断が必要です。